

WG20 報告

報告者：花村哲也（岡山大学大学院環境学研究科教授）

日時：2008年9月21日（日）14:00～18:00

場所：ホテル ジェーピーパレス A 会議室

アニマター（仏語でコーディネーターの意）：Markus Thewes（独）

出席者：米、独、仏、蘭、豪、印、チェコ、タイ、日から計13名

メンバー自己紹介のあと、次回からの正副アニマター改選案が審議され、Amanda Elioff（米）と Wout Broere（蘭）が選出された。

昨年プラハでの WG 議事録が承認されたあと、各国のプロジェクト報告がなされた。日本の現況は、メンバーに配布した日本トンネル技術協会刊行 **Tunnelling Activities** により説明された。数年来の懸案である「都市問題・地下解決」WG レポート作成についてドラフト案を検討し、表題の変更や内容の追加を論じた。一例では、地震に強い地下空間などを強調すべきなどの議論がなされた。別冊として各国の都市における地下空間利用が、事例研究として添付される。日本の事例では、首都高速環状線、外郭放水路、洪水対策用の雨水貯留・地下調整池が添付される。08年中に執筆作業を終え、09年 ITA トンネル会議までに完成することとした。



WG20 参加メンバー